

大学生・若者世代の意見発信プログラム

イバシヨビルド 実施記録

イバシヨビルド実施概要

- イバシヨビルドについて

利用者自身が過ごしたいと思うところや居心地がよいと感じる場所について話し、自分たちに必要な「居場所」について意見を伝え合い深めるプログラム。

大学生・若者世代を対象とし、バーチャルユースセンターの取組や運営方法について意見交換を行い、若者の視点から意見やアイデアを整理し、今後の運営方針や企画に反映することを目的とした。

「交流」「相談」等の機能をより利用しやすいものとするためのアイデアを検討するとともに、若者世代の参加促進に向けた課題や改善案を話し合い、提案カードにまとめた。

- 日程

2026年8月6日(木)13:30～15:30

- 会場

オンライン会議ツール Teams

- 参加者

7名(グループ①さいたま市若者自立支援ルーム4名、グループ②オンライン3名)

- テーマ

バーチャルユースセンターについて考える ～自分たちの居場所を一緒につくろう～

「イバショビルド」実施内容

テーマ

バーチャルユースセンターについて考える
～自分たちの居場所を一緒につくろう～

※2グループに分かれて実施

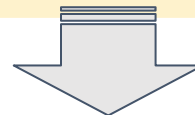
STEP1
個人ワーク

自分自身の経験を振り返り、
「若者にとっての居場所」「VYCへの期待」等を整理する



STEP2
グループディスカッション

グループ内で意見交換



ゴール

若者世代の視点から、VYCをより利用しやすくするための
提案をまとめ、埼玉県への提言カードを作成する

個人ワーク

第1問

あなたは、家や学校・仕事など以外で、普段どんな場所で過ごすことが多いですか？（複数選択可）

- ☐ カフェ(2票)
- ☐ 図書館(4票)
- ☐ 公園(1票)
- ☐ 友人・知人の家(1票)
- ☐ 地域の居場所(2票)
- ☐ インターネット空間(ゲーム・SNS・Discordなど)(4票)
- ☐ ショッピングモール(2票)
- ☐ その他(自習室、美術館、イベント会場、デパート物産展)

第2問

**その場所が「居心地がいい」と感じるのは、なぜですか？
また、その場所に「また行きたい」と思う理由があれば教えてください。
(自由記述)**

(回答)

- ・1人でも過ごしやすい
- ・お金がかからない
- ・静か
- ・誰かがいると安心する(知らない人でも)
- ・涼しいところ
- ・水分がとれるところ
- ・話が合う
- ・一緒にいて楽しい(趣味の話とか)

- ・図書館
 - 涼しい、ソファ、落ち着く、リラックスできる、静かでひとりで集中できる
 - ・SNS
 - 過度に人に気を遣わなくてよい、自分の好きなことだけを見ることができる、好きな時に好きな場所で好きなものを見られる
 - ・友人の家
 - 一緒にいる年数が長いため、日常会話から相談まで気を遣わない
 - ・カフェ・図書館・ショッピングモール
 - 同じような境遇の人が多い
- ⇒「習慣化している／勝手がわかる場所では、気が楽」

第3問

たとえばイベントや特定の場所に「参加しづらいな」「居心地がよくないな」と思うのはどんなときですか？（自由記述）

(回答)

- ・集中したいときに、話しかけられてしまう。周りが騒がしい(TPOを守らない)。
- ・にぎやかで、うるさいところは落ち着かない。
- ・新しいところ、初めて行くところのアウェイ感。
→ルールがわかりやすければ良い。
- ・ルールが複雑すぎるとだめ。
- ・みんなが知り合いだと、気まずくなる。
- ・一体感がある場所は疎外感を感じる。
- ・新しい出会いを求めていったのに、交流の機会があまりもてないとき。
- ・周りとの距離が近すぎる時。
- ・人が多すぎる時。大人数で話す時。
- ・(値段が)高すぎる時。
- ・ノリが合わない時。

第4問

あなたが「若者のための居場所」をつくるとしたら、どんなことを大切にしたいですか？（複数選択可）

- ☐ 安心して過ごせる(6票)
- ☐ 一人でも利用しやすい(6票)
- ☐ 仲間と交流できる(5票)
- ☐ 共通の趣味でつながれる(4票)
- ☐ 気軽に相談できる(6票)
- ☐ ゲームやイベントがある(4票)
- ☐ 自由に過ごせる(4票)
- ☐ 学びや体験ができる(5票)
- ☐ その他()

<意見>

- ・立場・境遇に関係なく、雑談で輪に入っていける。
- ・「気楽に」参加できる。
- ・普段の生活に疲弊していても、気が楽になれる。
- ・プログラム・イベントも大切だけど、日常の一部。
- ・どういう人であっても、参加できる。
- ・食べ物やおやつの提供がある。
- ・相談ができる。
- ・専門性があるスタッフがいる。

第5問

あなたが「バーチャルで」若者のための居場所をつくるとしたら、何があるといいですか？

**理想のVYCでの過ごし方や VYCにどんな仕組みがあったらいいですか？
以下のそれぞれの項目について考えてください。**

- ① 機能面(クリエイティブ機能、ゲーム)
- ② 交流、プログラム
- ③ 相談(方法、相談スタッフ、プライバシー等)
- ④ その他()

① 機能面(クリエイト機能、ゲーム)

- ・カラオケや楽器演奏(好きなことを共有する)
- ・コバトンに話しかけたら埼玉のことを教えてくれる。
- ・絵や作品の描き方のヒント・アドバイスをくれる。
- ・カードゲーム(その場で簡単に楽しめる)
- ・学校で政治を学ぶ機会がない。学生があまり手に入らない情報に触れられたら。

(例)市議選で候補者を自分で調べなければならない

② 交流、プログラム

- ・プログラムをつくる時の意識について。学校に前向きではない人が来てくれたときに、社会・世界って面白いなあって思えるプログラム。
- ・小学生には気軽な話題、中高生向けには将来のことや進路に特化した相談会を。
- ・雑談(プログラム以外の時間の過ごし方)。そこに来ただけで、気付いたら輪の中に入って過ごせる。
- ・クラブ活動(オンライン部活動)

③ 相談(方法、相談スタッフ、プライバシー等)

- ・相談者と同じ境遇の方に相談に乗ってもらえる。
- ・同じ境遇の方どうしてつながれる。
- ・プライバシーは絶対守られるべき。
- ・解決ではなくて、悩みを聞いてほしいだけの人もある。
- ・ボイスチャットという選択肢もあると、寄り添えるのでは。

提案カード

キャッチコピー : 安心して交流できる、いつ来てもいつ帰ってもいい

大切にしたい要素: 安心・安全、目的がなくても過ごせる

VYCに求めること	内 容	理 由
①機能面	・カラオケや楽器演奏 ・コバトンに話しかけたら埼玉のことを教えてくれる ・絵や作品の描き方のヒント・アドバイスをくれる ・カードゲーム ・すごろく	・好きなことを共有出来たら楽しそう ・共感してもらえるとうれしいから ・バーチャル空間を探索するのが面白そうだから ・知らない人とでも仲良くなれるきっかけになる

キャッチコピー : VYCを日常に。

大切にしたい要素: 立場・境遇に関係なく誰でも来れて、普段の生活に疲弊していても参加すると気が楽になれる。

VYCに求めること	内 容
①機能面	学校で政治を学ぶ機会がない。学生があまり手に入らない情報にふれられたら。
②交流・プログラム	学校に前向きでない人が来てくれたときに、社会・世界って面白いなあって思えるプログラム。 クラブ活動(オンライン部活動) (中高生)将来・進路に特化した相談会 雑談(プログラム以外の)そこに来ただけで、気付いたら輪の中に入っている。
③相談	相談者と同じ境遇の方に相談に乗ってもらえる。 同じ境遇の方どうしてつながれる。 プライバシーは絶対守られるべき。 解決ではなくて、悩みを聞いてほしいだけの人もある。 ボイスチャットという選択肢もあると、寄り添えるのでは。
その他	学校に行ける人も行けない人も、悩みがある人もない人も誰でも行けるところ。

まとめ

①機能

「バーチャルだからこそできること」

- カラオケや楽器演奏
- カードゲームやすごろく
- 絵や作品づくりへのヒント・アドバイスがもらえる機能
- コバトンに話しかけると埼玉のことを教えてくれる機能
- 学生が普段触れる機会の少ない政治などの情報に触れられる機能

②交流・プログラム

「楽しむことから生まれる、興味やつながり」

- 社会や世界について「面白い」と思えるプログラム
- オンライン部活動など、継続的に参加できる活動
- 雑談など、プログラム以外にも自然に交流できる時間
- 将来や進路について考える機会や相談会
- 年代に応じたテーマ・内容の設定

③相談

「解決するだけでなく、話を聞いてもらえる場所」

- 同じ境遇の人に相談できる
- 同じ境遇の人同士でつながれる
- プライバシーが守られる
- 悩みを解決してほしいのではなく、ただ話を聞いてほしい場合にも対応する
- ボイスチャットなど、相談方法を選択できる

【 大切にしたい要素 】

①安心・安全、目的がなくても過ごせる

②立場・境遇に関係なく誰でも来れて、普段の生活に疲弊していても参加すると気が楽になれる

【 キャッチコピー 】

**安心して交流できる、いつ来てもいつ帰ってもいい居場所
VYCを日常に。**

若者が求めるVYCの姿

「何かをするために訪れる場所」だけではなく、目的がなくても気軽に立ち寄り、自分のペースで過ごせる居場所を求める意見が共通して見られた。

その上で、ゲームや音楽、創作、雑談、オンライン部活動など、自分の興味や関心に合わせて楽しみ方を選べること、社会や世界、進路などについて新しい情報や興味に出会えること、そして必要なときには安心して相談したり、同じ境遇の人とつながったりできることが提案された。

参加者から出された大切にしたい要素

①安心・安全、目的がなくても過ごせる

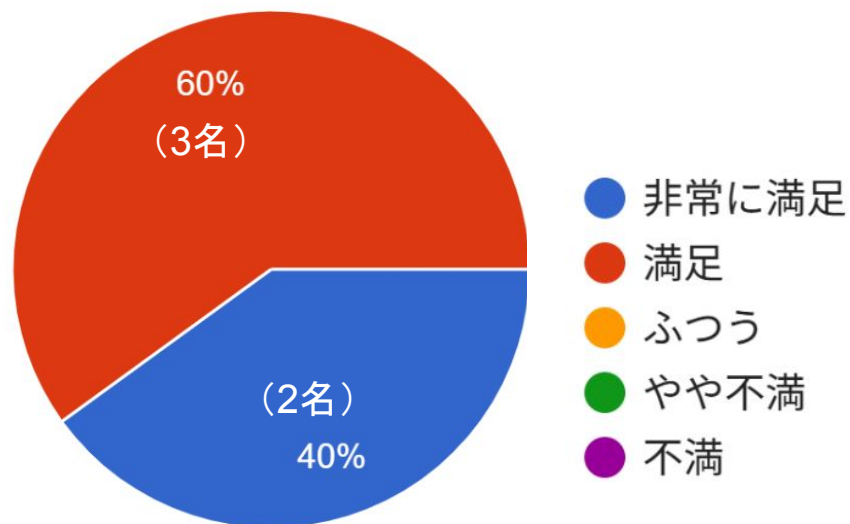
②立場・境遇に関係なく誰でも来れて、普段の生活に疲弊していても参加すると気が楽になれる

これらは、若者自身が求めるVYCのあり方であり、上記に掲げるキャッチコピーは、今回の参加者が考えたVYCの姿を象徴する言葉として捉えることができる。

アンケート結果

※アンケート回答数 5件

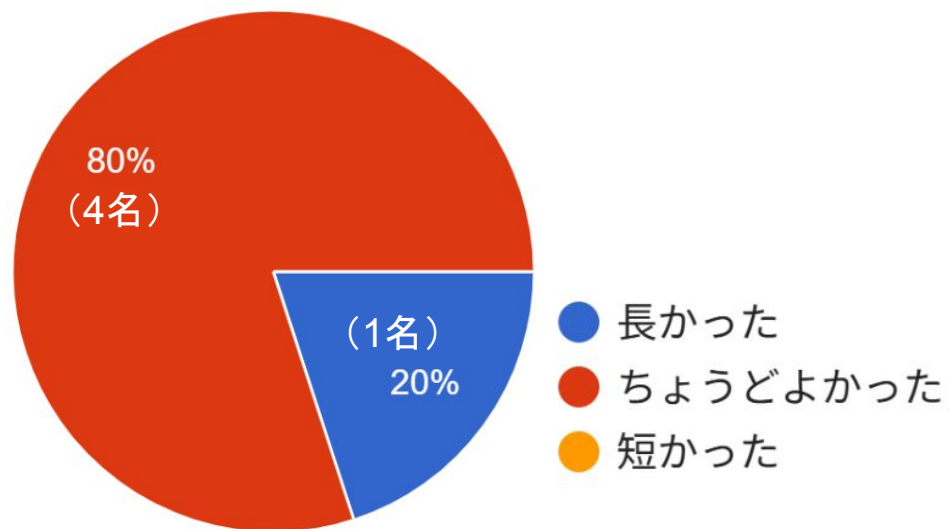
▶ 内容はいかがでしたか？



▶ その理由をお聞かせください

- いろんな意見をたくさんきけた。
- 自分自身で問題点やこうあってほしいという希望を考え、共有をして話し合うことができた。
- 交流できて良かった。
- 自分とは違った意見に触れたことで、新しい視点を持つこともできて、より理解が深まったと感じた。

▶ 時間はいかがでしたか？



▶ 感想やご意見をお聞かせください

- VYCのことを知らなかったが、内容を聞いてとても興味を持った。もっと多くの人に広まってほしいと思った。
- 子どもの居場所づくりについて、自分と同じような意見があることでより意見が固まったり、自分と違う意見に触れて、新しい視点を得ることができました。貴重な機会をありがとうございました。
- 硬い印象を受ける会だったので、もっと軽いノリで実施するとアイデアや意見が出やすいと思った。